

2015年5月20日

各位

SBSロジコム株式会社

SBSロジコム、全日本物流改善事例大会で成果発表 —物流センターの印象品質の改善で、物流業務部門優秀事例に選抜—

当社土浦支店は、物流現場改善について優秀事例に選抜され、4月21日、東京青山で開催された「全日本物流改善事例大会2015」の大会1日目において物流センターの印象品質の改善をテーマに発表を行いましたのでお知らせいたします。



同大会は、物流現場の改善活動の発表の場として公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会などが主催。29回目となる今年は30事例が優秀事例に選ばれ、4月21日の大会1日目には物流企業や荷主企業など200名超が参加し、14社15事例が発表されました。

当社は、大手スーパー、カスミ様のカスミ中央流通センター（茨城県かすみがうら市）を納品で訪れるドライバーの皆さんの対応を改善した、ドライ検収担当の女性チームによる「私たちにできること 顧客感動への取り組み」を土浦支店大槻直紀課長が発表しました。

<改善の背景>

当センターは、北関東を中心にカスミ様の100店舗超をカバーする基幹センターです。今般の改善は、「納品作業を短時間で済ませたい、事務所に誰もいないことが多い、作業動線を短くして欲しい」など当センターにとってお客様であるドライバーの声が起点となりスタートしました。

<改善の内容>

環境の改善では、事務所のレイアウト変更で対応迅速化を図り、留守対策としてパソコンと内線電話を使い作業中のメンバーと連絡を取れるようにして待ち時間を短縮。業務の改善では、人の動きを把握することに着目し、事務メンバーの見える化、現場作業員の見える化、そしてお客様の見える化に取り組み、試行錯誤を重ね管理板の工夫や構内電話の活用などで克服。

<改善の効果>

結果、検収待ち時間3分以上、お客様の納品作業全体で約18分の短縮に成功しました。



発表後、コーディネーターの福島氏(左)より記念のクリスタルを受け取る当社土浦支店大槻直紀課長(右)

注)詳細は、当社ウェブサイト http://www.sbs-logicom.co.jp/lgc/case/tsuchiura_tc1/にてご覧いただけます。

発表後、コーディネーターの福島氏(※)から「ドライバーをお客様としてセンター運営を見直すという切り口が新鮮。いろいろな物流センターに出入りしているドライバーの評価を高めることは重要な視点だ」との講評をいただきました。また、この改善の実現ならびに発表の機会を得られましたのは、お客様であるカスミ様の改善活動推進へのご理解とご指導の賜と考えております。

カスミ様のファンは物流センターでも作ることができます。私たちSBSロジコムは、センターに來訪されるお客様のコンシェルジュとして満足以上の感動をこれからも追求してまいります。

以上

※コーディネーター福島 俊浩氏:生活協同組合連合会コープネット事業連合 店舗営業部物流企画課長

■ご参考

<SBSロジコム株式会社概要>

本 社：〒130-0012 東京都墨田区太平4丁目1番3号 オリナスタワー

代 表 者：代表取締役社長 鎌田 正彦

設 立：1940年（昭和15年）

親 会 社：SBSホールディングス株式会社

資 本 金：28億46百万円 （2014年12月末現在）

売 上 高：443億円 （2014年12月末現在）

社 員 数：1,231名 （2014年12月末現在）

事 業 所：関東を中心に全国約70拠点を設置

関係会社：SBSフレイトサービス(株)、日本レコードセンター(株)、SBSトランスポート(株)、SBSグローバルネットワーク(株)

事業内容：SBSグループの物流事業のコア会社として、3PL・センター物流・倉庫・流通加工・運輸・通運・国際物流・館内物流・施設移転・オフィス移転などお客様のあらゆる物流ニーズを一貫したサービス体制でサポートしています。

U R L：<http://www.sbs-logicom.co.jp>

■本件に関するマスコミからのお問い合わせ先

SBSホールディングス株式会社

I R・広報部 南 輝子 TEL：03-3829-2240/e-mail：contact11@sbs-group.co.jp

※当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。